

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」向ヶ丘校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		指導訓練室(38.5㎡)をパーティション1～3部屋に区切って使用していきます。	
	②	職員の配置数は適切である	3		職員の配置は、指定基準を遵守しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		3		2階にある事業所で階段があるので利用児童・保護者様には注意を呼び掛けるよう配慮しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3		毎朝の教具・遊具の点検及び補修や消毒を常にしています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3		朝礼及び終了後のミーティング	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		3		事業所評価を実施その結果を職員間で共有して改善へ向けた取り組みをしています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	2	ブログにて公開	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3		今後実施予定
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		定例研修などは全職員出席を心がけている	
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3		保護者の意見を聞きながら適切な支	

支援の提供				援計画を作成しています		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	特性に合わせ、細かいかつ具体的な支援内容を設定している。	家族支援は未実施	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	保護者からの情報を適切に支援へ活かしている		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	チームで振り返り、相談し、改善しながら活動している。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	情報共有しながら固定化しないように工夫している		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3		現在集団活動は未実施	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	適切な情報の共有や当日の役割など打合せを行っている		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	正確な情報共有を行っている	原則当日の打合せが望ましいが、翌日のミーティングになることもある	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	当日の記録を心がけている		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している		3		今後実施していく予定
	関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	モニタリング実施、書面で担当記入	
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		3	

保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		3		現在未実施
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		3		現在未実施
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3		園見学、及び担当職員との話し合い。支援目標の確認や相互理解を行っている	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		3		現在未実施
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		3		感染症対策のため、現在は郵送にて実施
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		3		今後、実施に努める
保護者への説明責任等	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		3		現在未実施
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		保護者とのフィードバック等を綿密に行っている	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		3		今後、検討していきたい
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		運営規定にのっとり、適切かつ丁寧な説明を行っている	
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3		ガイドラインに基づき、実施している	
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		連携を常に行い、相談しやすい環境を設定している	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3		現在未実施

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3		保護者からの相談には、近日中に対応するように心がけている		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		ホームページまたはブログにて発信		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	3		鍵付き書庫にて厳重に保管している		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		どのような伝え方がよいか、配慮しながら行っている		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3		現在未実施	
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3		マニュアルを設置し、いつでも閲覧できるようにしている。	
		④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		校舎近隣を把握し適切な計画を練っている	非常災害発生時の訓練については、今後実施していく予定
		④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3		保護者からの情報をもとに適切に把握している	
		④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		3		該当なし
		④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3			代替支援の割合が多く、現状ヒヤリ、ハット事例はないが、今後そのようなことが発生した場合は、作成し共有する
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		研修等、積極的な参加を心がけている		
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3		重要事項説明の際、説明ののち、必ず同意を得ている		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」向ヶ丘校

保護者等数（児童数）：2 回収数：2

割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1	1				十分にスペースが確保されている
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2					現在満足している
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	1			入口階段が急である	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2				余計なものがなくて整っている。先生がたの清掃への心遣いが一目でわかる	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2				しっかりみていてくれるのがわかる計画。いいところ悪いところも受け入れてくれている	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2				一人ひとりのお子さまに向けた支援や、個別配慮をしている	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか		2				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか		2				
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2				今後、交流に努める
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2				契約の際、説明を受けている	

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか		2			
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1	1			
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2				不安なことなど随時話を聞いてくださり、親としてとても心強いです
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	1		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1	1			相談後、迅速に対応していただき、園に情報共有しに行っていただいた
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1	1			
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか		2			ブログ等の更新にて周知を図る
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2				
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2				契約のときに説明を受けている
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		2			今後、避難訓練などの実施を行っていく
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	1	1			毎回きりりへ行くことをとても楽しみにしています

②③	事業所の支援に満足しているか	2				親子ともども、様々なアドバイスをいただき、大変感謝しております。	職員のスキルアップに日々努めています。
----	----------------	---	--	--	--	----------------------------------	---------------------

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。